

地区協会だより

中国留学生に浴衣を着付け
おみこし担いで、国際交流

豊島区日中

東京都日中友好協会は、まず13時、豊島区勤労福祉会館に会員および中国留学生・帰国者たち約20名が集まり、浴衣と帯の着付けをした。お互いの浴衣姿に写真を撮り、「国際交流のみこしを担ぐ会」の神輿で、これは豊島区のボランティア団体で結成され、歴代会長は豊島区日中友好協会が務めている。

第一部として、日本の伝統文化である浴衣を紹介する取り組みを行った。16時にフロアを移動して、中国、韓国、米国、イスラエルなどの若者たち70〜80人の全員がサインを書き入れた大看板をバックに記念撮影。本番に備えておみこしの担ぎ方、足踏みなどの練習に気が



16時にフロアを移動して、中国、韓国、米国、イスラエルなどの若者たち70〜80人の全員がサインを書き入れた大看板をバックに記念撮影。本番に備えておみこしの担ぎ方、足踏みなどの練習に気が

が入った。

17時30分、いよいよ第三部。『国際交流』のおみこしは池袋二丁目町会をお借りした。雨の降る中、数ある他町会のおみこしに混じって、池袋西口駅前広場に集合。おみこし開会式で豊島区長の挨拶が始まると、朝から降り続いてきた雨が嘘のようにヒタッと止んだ。おみこしのパレードがスタート。17基のおみこしが街中を勇壮に練り歩き、駅前には祭り一色に彩られた。何カ国も混成で法被姿の『国際交流』のおみこしが、太鼓・笛に合わせ「ソイヤ」「ワッショイ」と威勢のいい掛け声でおみこしを揺らして担ぐ様は見物人の中にも一番注目を浴びていた。

東京都新名所めぐり
豊島区日中のバス旅行

19時30分、豊島区勤労福祉会館に戻って第四部の交流会。豊島区日中婦人部により、けんちん汁などが振舞われ、さまざまな国の方たちとの交流、ビンゴゲームで盛りあがった。(中野)

豊島区日中友好協会のバス旅行も第16回を迎え、日中交正常化40周年「東京スカイツリー・浅草とお台場ハイキングランチ・バスの旅」を計画しました。当日、親子連れの飛び入りもあり総勢102名(日本45+中国57)、募集定員を大幅に上回りお断りするの大変でした。



参加者が多かったために二度に分けた記念撮影

「渋谷フェスティバル」
渋谷区日中

11月3日(土)4日(日)の2日間、渋谷区代々木公園で第35回区民フェスティバルが行われた。渋谷区日中ではテントひとつを借りて甘栗と串焼きを売った。甘栗は34年間売り続け、来場者の人気物となっている。串焼きは今年初めて。前日に串1171本を総勢16人で肉の串刺しをおこなった。初めてのことで、ど



だけ売れるか心配だったが、天気もよく、来場者も多く、大声での呼び込みと美味しさも加わり、売れ行きは上々。2日目の午前中に串焼きは完売、甘栗も3時頃に完売した。3日間で延べ50人の渋谷区日中役員・会員の協力があつた。

3日には、北京市人民対外友好協会から中国駐福岡総領事館に昨年8月からの出向している副領事の王冬さんが娘さんを連れて見えられた。当日有志13名で王冬さんの歓迎会を行った。渋谷区訪中団の添乗や北京アメ訪さんには「2年間の予定で福岡総領事館に来てい

バーベキュー+
友好交流
中央区日中



当日はよく晴れた行楽日和で、参加者は約50名となり、明るくにぎやかな交流会とすることができました。佐々木理事長の主催者挨拶のあと、来賓として宇都宮徳一郎東京都日中会長が挨拶と乾杯の音頭をとってくれました。歓談に入り、中国の昭記念公園のバーベキューガーデンで、友好交流の集いを開催しました。この催しは都日中組織委員会の後援でした。

「私と中国」作文の表彰式

自分の作品の朗読も



東京都日中で日中国交正常化40周年事業として「私と中国」という作文を募集した。作文はA部門(中学生・高校生の部)とB部門(一般の部)に分けた。その結果、A部門に63人、B部門16人の応募があつた。作品選考を都日中役員・広報委員会・北京市人民対外友

好協会など14名でおこない、東京版9月25日号で発表したように、A Bそれぞれの優秀作品に都日中会長賞・北京市対友協会長賞が贈呈された。

9月30日に表彰式をおこない、終了後各受賞者に自分の作品を読んでもらう「朗読会」もおこなつた。折からの台風17号にもかかわらず51名の受賞家族・日中の会員・ホムページを見ての

一般参加者があつた。朗読したのはA部門の都日中会長賞は高江洲真美さん(14歳)の「心の花」・対友協会会長賞は太田夏美さん(15歳)の「私の家族と中国」・B部門の都日中会長賞は北村みのりさん(33歳)の「心で話す中国語」・北京市対友協会会長賞は瀬名波優さん(44歳)の「心で結ぶ糸」であった。



9月29日正午より副会長の都築邸農園にて恒例の秋季懇親会が開催された。主催は西東京稲門会

で西東京三田会ゲストと西東京市日中会員が毎年参加している。今年も50人余の参加者があつた。今回は初めての試みとして西東京市在住の留学生主体の餃子コーナーが設けられた。参加者は熱々の美味しい餃子を喜び、また留学生もお客を待たせない様、フル回

東京都国民年金基金

理事長 貫洞 哲夫
専務理事 宮下 好美

〒160-0021
東京都新宿区歌舞伎町2-44-1
東京都健康プラザ15階
TEL 03-5285-8800

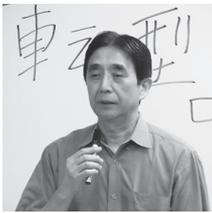
あしたの「笑顔」を創造する。

株式会社 ミノファーマーゲル 製薬
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 TEL 03(5909)2323(代)



中国問題を読み解く

党大会を迎える中国の経済情勢



西園寺一晃 先生

差が生じてしまった。1980〜90年代は内需もあつたが、2000年代になると外需へと力を入れた。そのことは相手国が失速すると必ずと

9月19日孔子学院で「党大会を迎える中国の経済情勢」について、孔子学院院长であり東京都市大学副会長の西園寺一晃さんの講演があつた。世界経済とともに中国経済も失速した。鄧小平時代は改革開放であり、江沢民時代は改革開放を進展させることであつた。胡錦濤時代は成長第一主義から安定成長へ舵を切つた。習近平はそうした情勢を担って新政権となる。

二ヶタ成長はできずに輸出も大幅に落ち込んでいく。輸出は相手国の経済悪化のためであるし、国内消費も十分でない。これまでの30数年間は、爆発的な購買力があつたし、積極的な公共投資もあつた。特に沿岸部を中心に発展し、結果として沿岸都市部と内陸部の格差が生じてしまった。

宇都宮徳一郎 会長が 千葉県日中で 講演

千葉県日中法人委員会では、11月6日(火)午後2時より千葉市中央区のホテルポートプラザにて、今年度の「法人セ

米ドルで持っている。中国の貿易は①EU、②日本、③米国の順であり、この3国で42%を占めており、中国の輸出の50%は外資系企業である。こうした経済情勢の中で講演だつた。

ベストセラーを通して見る中国



泉京鹿 先生

10月18日孔子学院で「中国人はいま何を讀んでいるだろうか」というテーマで翻訳家の泉京鹿さんの講演があつた。泉京鹿さんは16年間北京で暮らし、雑誌『人民中国』の翻訳などをしていて、今年には村上春樹さんがノーベル文学賞を受賞するのではないかと噂されてきたが、中国の莫言さんになった。泉京鹿さんは莫言さんと知り合っている。三回会つていて、莫言さんの小説『赤いコリヤン』が映画化され1987年にベルリン国際映画祭で金賞をとつて世界的にも有名になった。彼は年に長編小説を一本の割合で書いてい

る。山東省の田舎で生まれ、学校もともに卒業していない。彼の作品は中国で発禁になったものもある。日本茶が大好きで、蕎麦殻の枕も大好きだなど、莫言さんの人柄などの話もあつた。中国で讀まれているノンフィクションでは、松本幸之助・黒沢明の自伝、窓ぎわのトットちゃん。歴史小説では、源氏物語、枕草子、山崎荘八の徳川家康、司馬遼太郎の坂本龍馬。現代の小説家では、村上春樹、渡辺淳一、東野圭吾なども本屋に平積みされ売れている。日本の戦国武将の小説なども讀まれているようだ。中国の若者は、内面的に日本と通じるのがあるのではないかと。あるいはいつと日本を深く知りたいたいものがあるのではないかと。奈良美智さんの「知日」という日本の各地を紹介した本が今年の8月に一〇万部も売れたと言われている。日本のファッション関係の本も中国で翻訳されよく売れている。本屋には日本だけのコーナーもある。

「天怒」(陳放作)や中国人は良く転職をするのでキャリアアップ小説、ある話だつた。

第30回全日本中国語スピーチコンテスト東京大会



スピーチコンテスト東京大会の様子

10月14日(日)、万世橋区民会館において、全日本中国語スピーチコンテスト東京大会が開催された。今回は第30回という節目の大会。はじめに大会の審査員で全国大会優勝経験者でもある徳久圭先生(日中学院専任講師)より参加者に向けて「中国語は大きな声で肝心」というモアアッぷりの講話があつた。参加者の緊張をほぐす。今回、朗読の部(都日中独自選定課題)の中に速度と正確な発音が要求されるアナウンス部門を新設、課題文のニュース原稿はNHK国際放送の協力を得た。挑みがいのある課題文に大学生を中心に10名が参加、アナウンスサーさながらの中国語を披露した。弁論の部・大学生部門では発音、表現力、問答ともに他を圧し東京外国語大学の学生が上位を占めた。

その奮闘記「浮沈」なども讀まれている。日本では莫言さんの「赤いコリヤン」「酒」などがロングセラーとなっているという興味ある話だつた。

「漢詩かるた大会」



子どもから大人まで

9月23日、かつしかシンフォニーヒルズ別館「ひびき」で「子供から大人までみんなで楽しく漢詩かるた大会」を開催した。雨天にも関わらず50余名が参加、そのうちの20名は子どもたち。

葛飾区教育委員会主宰の日本語学級に通う中国人の小学生達も参加、小さい頃から親しんできた唐詩に接し、実力を発揮してくれた。

わたしと中国を結ぶ一冊 『友好手帳』

日本と中国に関する便利な情報満載!!

会員特価 800円 (税込・送料別)

カバー (黒・赤) 縦15cm×横9cm

◆ご注文: NPO法人東京都日本中国友好協会
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-4
日中友好会館5階 e-mail: to-nicchu@jcfca-tyo.net
tel:03-3295-8241 fax:03-3295-8255

日本テレビ番組提供 途中下車の旅 毎週土曜日 9:30~10:30

提携記念ご入会キャンペーン 2012年11/1(水)~12/31(日)

期間中ご入会いただいた方全員に Bigプレゼント

セレモアの家族葬も承ります

お花・介護用品・患者移送から お葬儀のことまで

「特別割引特典の会員制度・品質と経済性の」

東京都日中友好協会ライフクラブ

セレモアの家族葬(基本価格)262,500円~ (当社一般葬儀基本価格(約)525,000円の50%割引の場合)

45,000円 (ご契約団体の皆様は50,000円のところ)

◆サービスエリア 東京都全域、神奈川県、埼玉県、千葉県、山梨県の各都県

担当:海老澤 孝光

浄土宗 梅窓院

住職 中島真成

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目26-38

電話 03 (3404) 8447 (代) FAX 03 (3404) 8107

梅窓院ホームページ URL=http://www.baisouin.or.jp/

うちの
カミ讚

No.110

◆閩列島のこと

9月11日、日本政府の尖閣列島(以後尖閣)の「国有化」後、数日してカミさんは反日デモがふきささぶ中国の実家に父親の病状を見に帰った。幸いかな百余の都市でデモが繰り返されていくというのに大連ではなかった。だが、空港の入国審査では日本人のパスポートなので審査に時間がかかり「中国の実家に帰ってきた」と言う中、国名、住所を問われ別室に移された。一時はどうなるかと思ったが入国できた。尖閣の領有を「棚上げ」しておいたものを、一方的に「国有化」した日本政府への「抗議」でもあるのか。もっとも「棚上げ」は日中国交正常化交渉の時も平和友好条約交渉の時も中国側が持ち出してきたもので、日本側は認めていないと外務省は言う。これは私には初耳であった。だから閣僚や総理が「領土問題は存在しない」、「日本固有の領土である」と発言するのである。カミさんが大連滞在中の番組を流し続け、尖閣は日本の中国侵略戦争の中で奪われたものであり、尖閣を中国領と表記した地図が爆発的に売れている。一部買っただけというが買えなかったという。我が家に帰ってきたカミさんと話した。結論は「イシハラが悪いのよ」、で一致した。週に何日も出勤せず、都政はすべて筆頭副知事任せ。都知事辞表提出後の定例記者会見では所用があると20分で打ち切った。記者からは「気楽なもんだ」とため息がもれたという。中国のことを「シナ」と呼ぶ他人にもそれを押し付ける。そんな知事が全く都政と関係ない尖閣を都が買上げるって、わざわざアメリカに行つて発表し、船だまりまで作るという。尖閣は手付かずのままにしておくとする政府があわてて「国有化」

に走った。「棚上げ」にしてあった尖閣を「国有化」したので、中国が怒ったというのが、今回の図式であろう。先人たちが智慧を絞って築き上げた日本と中国の友好関係を滅茶苦茶にした。「イシハラ」は中国との戦争も辞さずと口走っているぞうだ。メディアもこの「愛国・憂国の士」に同調する。「日本固有の領土」に異を唱えようものなら国賊扱いの論調である。

こんな中で大江健三郎さんたちが千二百名の賛同人を得て9月28日、参院議員会館で声明を出した。「中国が最も外交的主張が不可能の中で日本が領有した。紛争の原因は石原知事の尖閣購入宣言と政府の国有化にある。日本には領土問題は存在しないと見る見方を改めるべき。歴史問題を認識し反省すること。」この声明は全く無視された。

90歳になり、若干認知症気味で今は車椅子生活で特養に世話になっている私の母が突然電話してきた。「あんなのどこ大丈夫なの?我が家の日中友好は安泰である。(瀧)

土問題は存在しない」、「日本固有の領土である」と発言するのである。カミさんが大連滞在中の番組を流し続け、尖閣は日本の中国侵略戦争の中で奪われたものであり、尖閣を中国領と表記した地図が爆発的に売れている。一部買っただけというが買えなかったという。我が家に帰ってきたカミさんと話した。結論は「イシハラが悪いのよ」、で一致した。週に何日も出勤せず、都政はすべて筆頭副知事任せ。都知事辞表提出後の定例記者会見では所用があると20分で打ち切った。記者からは「気楽なもんだ」とため息がもれたという。中国のことを「シナ」と呼ぶ他人にもそれを押し付ける。そんな知事が全く都政と関係ない尖閣を都が買上げるって、わざわざアメリカに行つて発表し、船だまりまで作るという。尖閣は手付かずのままにしておくとする政府があわてて「国有化」

予告

国際交流
クリーンハイキング
in 高尾山

主催||国際交流クリーン
ハイキング協会
協力||NPO東京都日中
友好協会

日時:12月1日(土)
受付は10時、京王線

第15回東京都日中
友好囲碁交流大会

主催||NPO東京都日中
友好協会
日時:12月1日(土)
受付:12時30分、

高尾山口駅前
参加費:無料

北京市対友協訪問、
東京都日中友好協会
代表訪問団

日程||12月10~12日
目的||二〇一三年度
友好交流覚書」の
協議ならびに締結

費用 3000円

なお額面が1万円を超していた方には
会長から「感謝状」が贈られました。



ご協力ありがとうございました——NPO東京都日中友好協会
いただいた方々(個人・法人)の合計=総額 ¥3,071,000.-

「国交正常化40周年記念活動賛助金」
を醸金いただいた方のお名前を、意見
広告の形式で掲載いたしました。
(9月19日以後事務局到着分です。)

東京都日中友好協会会長
(株)ミノファーマーゲン製薬代表取締役社長
宇都宮徳一郎

東京都日中友好協会副理事長
石田昌三九

東京都日中友好協会常務理事
滝口忠雄

東京都日中友好協会常務理事
吉川信一

東京都日中友好協会常務理事
杉本孝一郎

東京都日中友好協会常務理事
樋口亮一

東京都日中友好協会常務理事
三好敏

東京都日中友好協会常務理事
佐藤進

東京都日中友好協会元常務理事
伊藤豊子

東京都日中友好協会理事
皆川誠一

東京都日中友好協会理事
松本正道

東京都日中友好協会理事
中村一男

東京都日中友好協会参与
直江昌則

東京都日中友好協会参与
若林千恵子

東京都日中友好協会参与
益田晴代

東京都日中友好協会参与
加藤美穂子

東京都日中友好協会会員
白石克人

東京都日中友好協会家族
成澤恵美

ハイビジョン映像
水野清

(有)リース
王曉燕

(株)セレミアつくば代表取締役社長
辻正司

東京都日中
女性部会
(匿名一名)

野呂恵子

佐伯久吉

吉田博

隈倉シズ

小杉望

松本広淳

安藤陽子

高野慶市

末廣綾子

山村義男

伊井健一郎

犬飼修造

小野三馬

中島菊

原昭二朗

鈴木桂子

仁井妙子

杉山政利

万石慧

大村作蔵

亀岡紀子

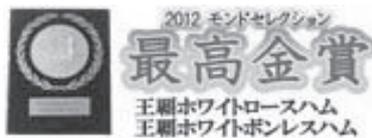
戸村啓子

藤本綾子

小林寛澄

西野孝夫
(匿名五名)

贈り物に丸大ハムギフトをどうぞ!



※弊社「王覇ホワイトロース・ホワイトボンレス」
「煌彩特選ロースハム・特選ホワイトロースハム」が2012年
モンドセレクション最高金賞を受賞いたしました。

確かなものを贈られる方に、喜ばれています。

丸大食品